

2011年工学域（中期）第2問

2 平面上に三角形OABがあり、 $OA = 3$, $OB = 2$, $\vec{OA} \cdot \vec{OB} = -2$ であるとする。線分OAを2:1の比に内分する点をCとする。また、線分ABを $t:(1-t)$ の比に内分する点をPとし、直線OPと直線BCの交点をQとする。ただし、 t は $0 < t < 1$ を満たす実数である。このとき、次の問いに答えよ。

- (1) 三角形OABの面積Sを求めよ。
- (2) \vec{OQ} を \vec{OA} , \vec{OB} および t を用いて表せ。また、 $\vec{OQ} = k\vec{OP}$ となる実数 k を t を用いて表せ。
- (3) 三角形OCQの面積が $\sqrt{2}$ になるときの t の値を求めよ。